

平成30年6月29日

平成30年度大阪府立箕面東高等学校「第1回学校運営協議会」報告

【日 時】平成30年6月15日（金）15時30分～16時45分 【場 所】本校校長室

【出席者】

学校運営協議会委員：伊東義輝（大阪成蹊短期大学）、
須貝昭子（NPO法人：市民活動フォーラムみのお）
小山正辰（森ノ宮医療大学）
岩田美穂（本校PTA会長）
篠崎 朗（本校同窓会会長）

校 長：國守正二

事務局：川上慶次郎（教頭）、堀 茂樹（教頭）

長崎 孝（首席）、室田真幸（首席）、上原口理香（教務部長）、野田恒三（進路指導部長）、
佐藤隆夫（3年次主任）、小坂昇平（2年次主任）、亀ノ上裕介（1年次主任）

【説明・報告事項】

1. 委員紹介 浅井隆志 委員（箕面市立第六中学校校長）は欠席
2. 「学校運営協議会」実施要項の確認（学校運営協議会の変更点について）
 - ・学校をコミュニティースクールの場としていく。
 - ・学校運営計画を学校運営協議会で承認を得る。
 - ・人事についての意見を伺う。
3. エンパワメントスクールの状況
 - ・志願者の定員割れについて
→私学との競合、エンパワメントスクール新校（淀川清流高）の開校
 - ・各学年について
(ES2) 3年になり勉強に取り組む姿勢が向上している。進路が決まっていない生徒の指導。
(ES3) 遅刻増。修学旅行に向けての取り組み。S・J コースの始動。
(ES4) 例年の1年に比べ欠席増。行事に積極的に参加。
4. エンパワメント1期生卒業後の進路とエンパワメントスクール2期生の進路希望

【協議事項】

1. 本年度の重点目標と取り組みについて

校長より

- 「書道Ⅱ」の授業において、篆刻が行われていなかった（大阪府下で本校含め、計7校）
→7月までに補講を行う。対象は3年生の52人。

●平成30年度 府立箕面東高等学校 学校経営計画について

・中期目標1 (1) ウ

「主体的・対話的で深い学び」により、「教える」ではなく「どのように学ぶかという視点に変わっている → 大学入試が変わる → 高校の教育も変わる → ここを意識していく。

・中期目標2 (1)

「正解が一つではない課題」ということで、「エンパワメントタイム」は継続。

・中期目標3 (1) エ

昨年の反省をふまえ、新しく追加された項目。

疑いの段階でいじめであると考え、組織で対応していく。数件、対応済みである

・中期目標4 (1) ウ

以前の箕面東のイメージを払拭するため、地元の中学生と交流をしていく。

●質疑応答

委員：モジュール授業の成果はなにか。

校長：国語では書けなかった漢字が書けるようになった。数学では、文章題が解けるようになった、というデータがでている。

小坂：英語について、中学校の学びなおしをすることにより、解けたという喜びを感じられるようになった。それに対し、2年生では高校の内容に入るため、そのギャップに苦しむ面もある。

亀ノ上：毎日行われるというのが良い。ES3期では、2月、3月ごろに自主的に本を読む生徒もいた。

委員：デュアルシステムの実践について、今年度の目標と人数を教えてください。

野田：今年度は12名いる。(男1名、女11名) 彼らに合う事業所を探すのがかなり大変。事業所等での体験で、働くことの壁にぶち当たる。

委員：生徒が将来像を描くため、学習意欲を高めるために非常良いシステムなので、大変なことも数多くあると思うが、継続してほしい。

2. その他

●平成31年度教科書採択について

→年2回、委員会を開いて、決定事項を職員会議で報告している。

※次回の学校運営協議会の日時は、11月30日(金) 15:30～ に決定